



丹後地域 第19号

リハビリ通信

～うさぎのプランコ～

編集／発行

丹後地域リハビリテーション支援センター
(公益財団法人 丹後中央病院リハビリテーション科内)
〒627-8555 京丹後市峰山町杉谷158-1

TEL 0772-62-8301 FAX 0772-62-8302

e-mail tango-rehabili-shien@tangohp.com

ホームページよりPDF形式でご覧いただくことができます

丹後地域でリハビリテーション支援センターの事業がはじまってから早10年が経過しました。今号では、丹後地域のリハビリテーションの現状についての調査を行いましたので、その内容を中心に報告します。

平成27年度地域リハビリテーション丹後圏域連絡会 報告

日時：平成27年5月18日（月）

14:00～16:00

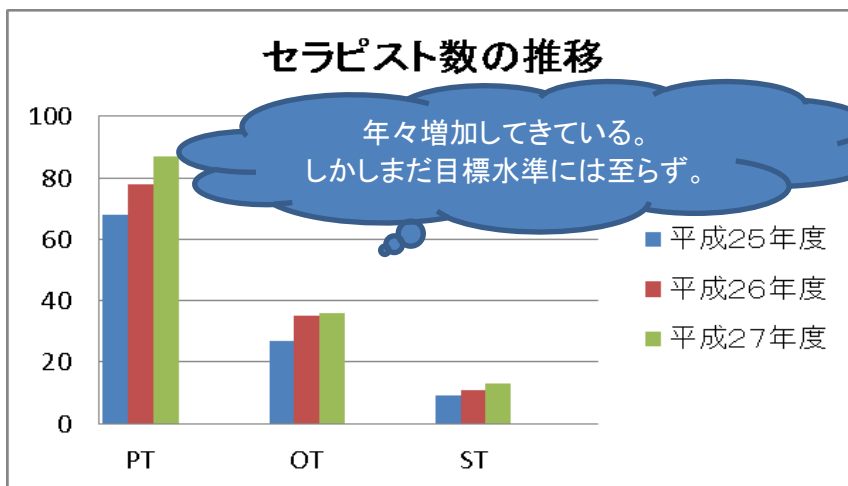
会場：京都府丹後保健所 講堂

管内の地域リハビリテーション関係者など22名（14施設）の方にご参加頂き、圏域連絡会を開催しました。丹後圏域のリハビリ資源について情報提供を行った上で、現状と課題について協議を行いました。



丹後圏域のセラピスト数の推移（非常勤も含む）

	理学療法士(PT)	作業療法士(OT)	言語聴覚士(ST)
平成25年度	68	27	9
平成26年度	78	35	11
平成27年度	87	36	13



丹後圏域のセラピスト数は年々増加しています。

病院報告より算出されたPT、OT、STの数を人口10万対でみると、丹後圏域はPTについては府平均並みですが、京都府全体では目標水準に到達しておらず、充足しているとは言い難いです。

又、OT・STについては府平均より少ない状況にあります。（勤務地別従事者数は、ホームページに掲載しています。）各年度初回時のセラピスト連絡会において所属先のセラピスト数を確認したものをまとめ掲載

地域リハビリテーション推進事業の実態調査

丹後圏域における各事業所のリハビリテーションの取組の実態を調査をし、圏域内の現状と課題を把握したうえで、地域リハビリテーション推進に向けた取組の方向性について検討することを目的にアンケート調査を行いました。

【対象】 地域包括支援センター、丹後管内介護保険事業所、障害者自立支援事業所、
病院（セラピスト連絡会メンバー所属） 計141か所

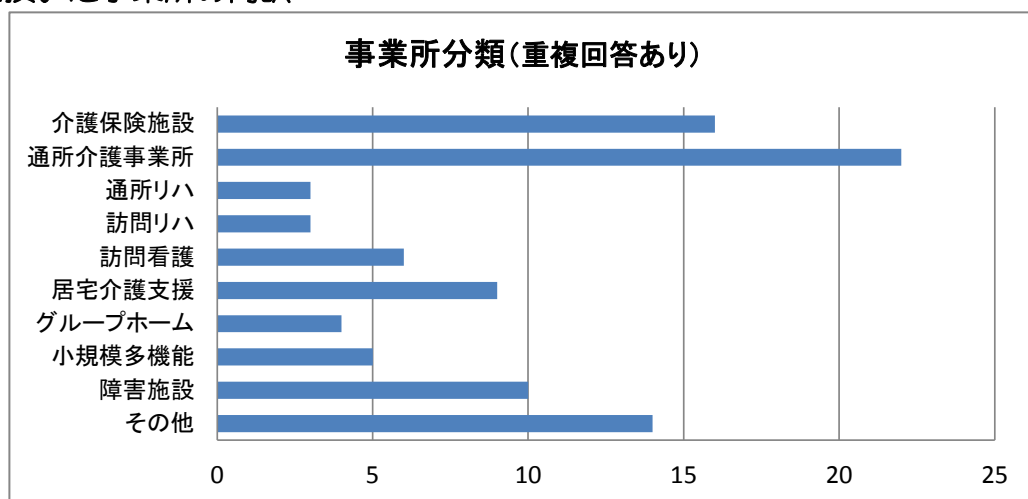
【調査期間】 平成27年4月22日～平成27年5月8日

【内容】 ・事業所におけるリハビリテーションの取組、課題等について
・丹後圏域地域リハビリテーション支援センターへの要望

【調査方法】 アンケート用紙を送付、FAXにより回収

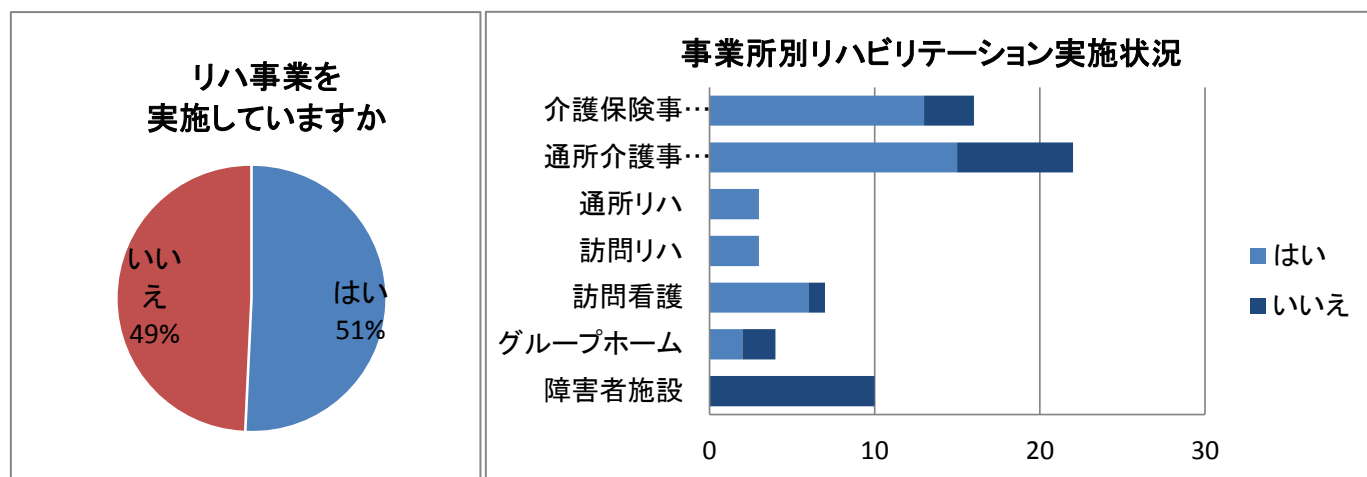
【回収結果】 141か所中68か所より回収 回収率48%

○回答を頂いた事業所の内訳



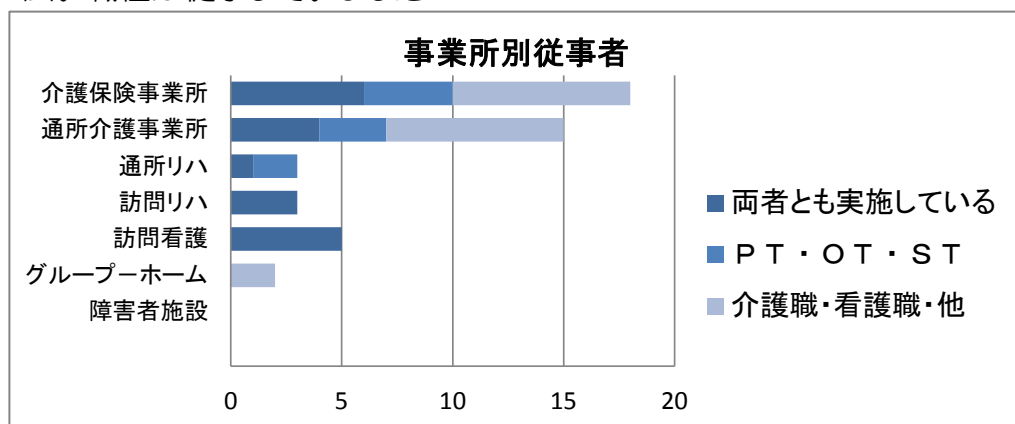
○リハビリの実施状況

リハビリテーション事業を実施しているのは回答のあった事業所のうち、約半数でした。
回答のあった障害者施設においてリハビリテーション事業を実施している施設はありませんでした。



○リハビリの実施従事者

リハビリテーション事業に従事する職種は、セラピストだけではなく、看護職、介護職を中心に幅広い職種が従事していました。



従事者その他内訳

・医師 ・歯科医師
・保健師 ・柔道整復師
・あんまマッサージ師

○リハビリの実施内容

対象、そして集団、個別によって、リハビリの実施内容の割合は異なりました。

実施形態と内容 (重複選択可)	内容					計
	機能訓練	ADL訓練	言語訓練	摂食・嚥下	その他	
入所者の個別訓練	14	12	5	10	0	16
入所者の集団訓練	5	5	3	5	2	8
通所者の個別訓練	8	15	4	10	2	21
通所者の集団訓練	12	7	5	9	3	14
訪問による個別訓練	5	5	2	3	3	6

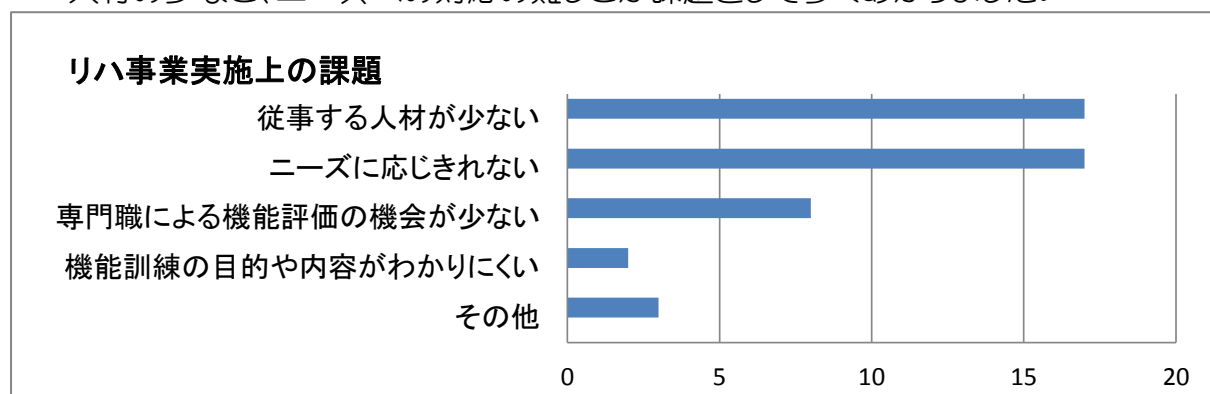
実施形態と内容	内容				計
	認知症予防教室	閉じこもり予防教室	転倒予防教室	その他	
地域に出向いた教室	1	0	2	1	4

その他内容

(入所者集団訓練)
集団体操
(通所者個別訓練)
・発声、嚥下体操
・買い物、外出
(通所者集団訓練)
・買い物、外出
(訪問個別訓練)
・住環境アドバイス
・家族指導
・自主トレ指導

○リハビリテーション事業を実施する上での課題

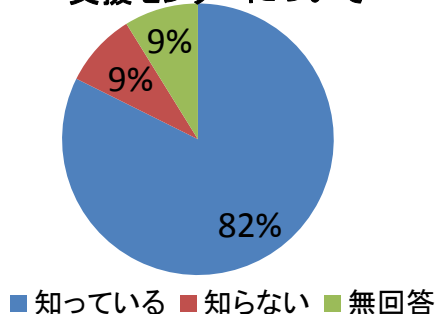
人材の少なさ、ニーズへの対応の難しさが課題として多くあがりました。



その他内容

・STの訪問がない(訪問リハ)
・生活支援に重点を置くと、リハビリ訪問が制限される
・生活リハを送迎、入浴、食事等で具体的にできたらよい

○丹後地域リハビリテーション支援センターについて

丹後地域リハビリテーション
支援センターについて

リハセンへの要望（一部抜粋）

- ・気軽にリハビリ指導をしてほしい。
- ・視覚障害に対するリハビリを実施してほしい。
- ・看護師が機能訓練指導員を担うため、知識、技術力を養成する機会がほしい。
- ・看護職、介護職の研修参加の場を増やしてほしい。
- ・通所事業所において、利用者の方、職員へのリハビリ講習会をしてほしい。
- ・リハビリ専門職がおらず、なにから手をつければよいかわからない。

丹後地域リハビリテーション支援センターについて、周知はされてきていると感じます。

リハセンでは、地域の皆様のご要望に応えられるよう、様々な活動を行っていきたいと考えています。今後とも、リハセンの活動に御理解と御協力を頂きますようお願いいたします。

看護職・介護職ステップアップ研修開催の報告

テーマ「日常業務にプラスαのリハビリを」

今年度のステップアップ研修は毎月開催（7月～2月）のリハビリ基礎講座となっています。

第1回となる7月の研修には、73名
の方にご参加いただきました。

日時：平成27年7月17日（金）

18：30～19：30

テーマ「ねているところから座るまで」

講師：松田 佳憲 氏

（公益財団法人 丹後中央病院 理学療法士）

対象者が自ら起き上がろうとする動きを導くこと（誘導）で運動学習を促すことが重要である

ということを、基礎知識と実技を交えてわかりやすく講義いただきました。＊第2回の報告は次号で。

第3回以降の
申し込みも
受け付けています

毎月第3金曜日

18:30～19:30

会場：丹後中央病院
ふたばホール

申込締切：

開催日1週間前

7月17日(金) ねているところから座るまで 講師：松田 佳憲 氏 丹後中央病院 理学療法士	8月21日(金) 移乗する 講師：小村 孝和 氏 ふたばはあし リハビリセンター 理学療法士	9月18日(金) 歩く、車椅子をこぐ 講師：吉岡 修 氏 丹後ふるさと病院 理学療法士	10月16日(金) 食べること 講師：芝 修 氏 介護老人保健施設 リハ・ヴィラなぎさ苑 言語聴覚士
11月20日(金) お風呂と着替え 講師：岡野 光朗 氏 京丹後市やさか老人保健施設 ふくじゅ 理学療法士 木下 和泉 氏 京丹後市やさか老人保健施設 ふくじゅ 作業療法士	12月18日(金) しゃべること＋認知症 講師：平野 清美 氏 丹後中央病院 言語聴覚士	1月15日(金) レクリエーション 講師：松本 健史 氏 丹後福祉応援団 生活リハビリ道場 理学療法士	2月19日(金) 住環境と福祉用具 講師：平岡 有香 氏 丹後中央病院 作業療法士